

広報 かがわ

第 96 号

編集発行

香川自治会
広報委員
会印刷所

香川の人口	9,667人
男	4,818人
女	4,849人
香川の世帯数	2,807世帯
(63.3.1現在)	

六十二年 度自治会報告

自治会長 熊沢幸一



長期念願でありました香川小学校プールの建設は関係地主の方々の深いご理解により、敷地の契約ができプールの建設に、一歩前進いたしました。また公民館建設につきましても、用地確保の推進に具体的に進行いたしております。ようやく当地区にも明るいいきざしが見えてまいりました。今後に向かって地区の方々のご理解と協力をお願いする次第であります。

さて六十三年度の役員改選期にあたり、現執行部の六十二年度一年間の事業報告を、させていただきます。

一、自主防災訓練

地元開業医の先生方と香川在住の市民病院勤務の看護婦さん、ご支援を頂き、応急手当等の実施指導を受けている。

一、防犯、痴漢の防護訓練
神奈川県警、防犯部長の指導で模擬訓練を第一青少年広場で実施

一、交通安全教室開催
市安全協会指導員および地元委員さんから自転車走行訓練、マナー等の直接指導を自治会館で受ける。

一、防犯連絡所の増設
世帯人口の急増にともない犯罪事故の無い町作りに連絡所を三十ヶ所(三十人)増員する。

一、敬老の集い
第三回敬老の集いを、七十才以上のお年寄りを招き、柳島記念館で実施

一、第六回文化祭
第一青少年広場を主会場にわら芸の実演、野菜即売会、パトントワーズ行進、マラソン大会、商興会主催の模擬店、抽選会、第二会

場の自治会館では作品展示会と菊花展、第三会場でのゲートボール大会等

一、恒例盆踊大会
八月中旬に婦人会、踊愛好会、香川商興会、消防団、交通安全協会の全面協力です。毎夜多数の参加者を得て盛大に実施

一、環境整備
四季を通じて、香川全域清掃運動と香川駅構内の花壇づくり、チサン団地内散策路の清掃美化促進

④第四回香川をきれいに、作文、ポスター展

⑤ゴミ集積所の小口分散化、大口集積箇所五ヶ所の小分散処理

⑥茅ヶ崎海岸清掃
市主催の海岸美化キャンペーンに早朝参加

⑦床下消毒
香川地区全域にわたり一勢消毒実施

一、道路、排水工事
⑧香川一六二〇番地水害地区改修工事

⑨ホープ理容店より北に排



水路護岸工事
⑩亀井亮治宅北側東西線の排水溝約五十三米のコンクリート土留工事
その他細かい活動は省略させていただきます。

いま香川地域状況は農住地区であります。市街化区域としての発展はめざましく、また幅広い活動期に入っております。このような状況の中で、今後地域活動をするにしても役員のみでははたもたありません。会員皆様方が如何にしたら身の廻りがよくなるかの感心と、意欲が要求されます。生活環境が良くも、悪くもなるかは全會員の総合意識が昂らない限りは一向に良くはならないのでありましょう。ここで自己の存在をもう一度考え、見なおす時と思慮いたします。

最後にこの二年間の自治会活動に、皆様方のご理解と、ご支援協力をお礼申し上げ、役員一同厚くお礼申し上げます。退任の挨拶といたします。

香川小学校に待望のプールが 六十三年 度中に実現の運び

香川小学校校長



丸井 浩

地域にある公立学校は、地域の方々の善意と好意から成り立っていると言う事を私達教育に携わる者として肝に銘じて置かねばならないと思っております。地域を度外視した学校教育はあり得ないのです。今ほど、地域のふれあい教育や連携が叫ばれている時代はないと思えます。それは、子供に対しての要望、家庭では、こんな子供にという親の願い、そして子の願いを受けての学校は、唯我独尊主義では出来ないのです。教育は前記三者が連携しながら行う機能だからです。私は校外にプールの用地を求めた交渉の中で、学校は地域から浮いた存在であってはならないと痛感しました。

プールの適地を交渉する中で、最終的に絞られたのが、学校の西北部の畑地で、その後の地主さん達との話し合いで本年三月にプール用地が得られました。当初予定の面積五百坪が五百五十坪に広がり、地主さん、建設推進委員会の方々、また陰に日向になり力になつていただいた地域の方

方に対し厚くお礼申し上げます。昭和四十三年当時児童数五三五名、PTAのバザーや保険取扱による利益金の積立によつて校地内に低学年用のプールを設置したいとの願ひでしたが、公教育上よろしくないのでの理由で宙に浮いてしまった様子が当時の記録に記されておりました。その後、体育館南側校地が指摘され、五十六年度に建設と話が進みましたが、児童数一八五三名と市内唯一のマンモス校になり狭い運動場をこれ以上狭くすると児童の安全、体育指導上から無理との理由で校外に設置を検討条件に考えて来ましたが、六十一年十二月に湘北地区市民集会以根本市長から香川小プールは校外に建設との話が出されこれに対する動きが活発となり二十年もの間待ちに待ったプールが六十三年度中に実現することになりました。今後は市当局と協議して子供達の安全面、使い良さを考え理想的なプールに思っています。

またプール建設用地周辺の皆様にはなにかと迷惑をお掛けしますが、ご理解と、ご協力をお願い致します。

役員さん

ぶっぴんごままでした

広報委員長 齊藤兵治

六十二年度も終わろうとして
います。

香川自治会も四十年間の歴史の中で、二十五代の自治会長を経て、茅ヶ崎市随一の自治会となり、その世帯も二千八百戸となりました。

二期連続の役員もおられ、家庭的にも社会的にも大変ご苦労があったことでしょう。

役員は無報酬であり、役員会、評議員会、及び、各委員会の事業が行われるたびに、夜となく昼となく、自治会事業の執行に当たられ、香川住民の福祉のため、その労を惜しまず尽力されたことは、会員の方々から尊敬されるに価するものであります。

会長を始め、各町内会長の方々は、各委員会の事業執行の都度、参加されてご指導に当たられると共に、町内の葬儀や、もめ事の仲裁なども引き受けられたと聞いております。秋の体育振興会への共催による体育大会には、町内対抗種目の選手選出など、大変な気苦労があったこと存じます。

会長は、自治会最高責任者であり、湘北地区連合会長、社協会長を兼務され、近隣の自治会及び各種団体との付き合い、地域づくり委員会、学校、等々に出席され、香川自

治会の顔として、一日として安らぎの時はなかったことでしょう。執行事業が出来ない折は、その責任を強く感ぜられ、心身共にお疲れになられたことでしょう。市当局への陳情や意見具申などで、さぞや歳月の流れが短く感ぜられたことと推察します。

環境整備委員の方々は、暑い季節の折に各家庭の床下消毒の薬剤散布、各町内の各種ゴミ置場の整備、香川駅前清掃などで各家庭の奥様方の意見調整を行い、文句を聞いたり、聞かせたりした種々の思い出も多かったと存じます。

文化厚生委員の方々は、盆踊り、敬老の行事、文化祭と地域文化向上に努力され、「ふる里づくり」のため尽力されたことは、多くの人の知るところであります。催物の弁当づくりの苦心、踊りの番付準備、各種団体への協力依頼、出品物の管理、本当に大変だったと思います。

消防・広報委員の方々にしても、誠心誠意、任期中、よく頑張ってくださいました。香川の街作りは、会員皆さんの努力で出来るものですが、役員の方々のなみなみな努力によって作られて行きます。



第一町内会副会長

広報委員長

戸村 久

環境整備委員長

齊藤 兵治

環境整備副委員長

宮川 清

第一町内会長

岩口 鉄

第二町内会副会長

花元 志

消防委員長

勝又 嘉久

自治会長

阿諏訪 徹

第三町内会副会長

熊沢 幸一

第四町内会副会長

山下 只義

第四町内会長

新倉 久寿

総務委員長

石井 栄

会計委員長

石嶋 一男

第二町内会長

浜田 健三

文化厚生委員長

高橋 猛

広報副委員長

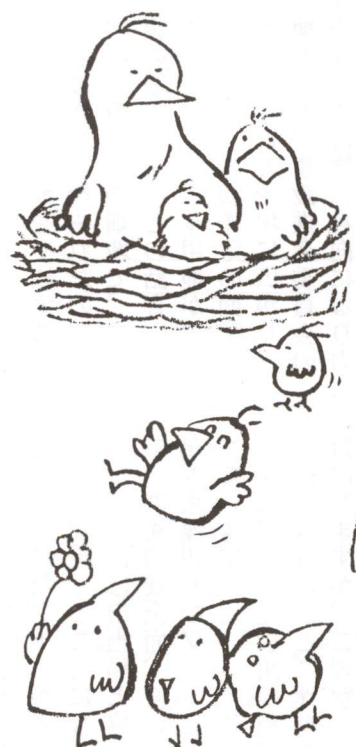
熊沢 政吉

第三町内会長

住吉 義男

阿諏訪 勲

香川の人口 一万人の大台へ



香川地区の人口が、一万人に近づいてきました。三月一日現在、二八〇七世帯、九六六七人の人が、この地区に居住しています。

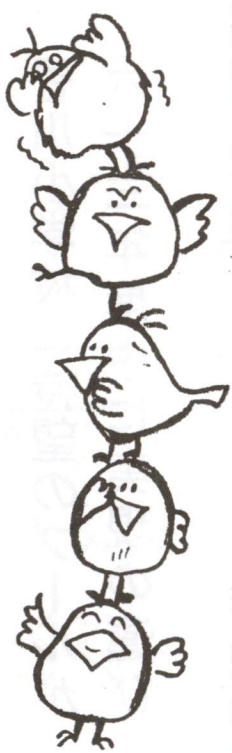
また、市全体の世帯数は、六一六五〇、総人口は一九三八〇七(男九六八六五、女九六九四二)。

「香川ニュース」(広報かがわの前名)の創刊号(昭和四五年五月二五日)によれば、「当時の香川地区は、一四二〇世帯、五四一三人が住む大世帯となり、団地を除けば、市内第一のマンモス自治会に発展した。・・・」と載っております。

現在では、鶴が台・浜見平の団地の人口をも抜いて、字別では第一になつております。ここで少し、歴史をひもといてみますと、

年度	戸数	人口
大正一四(一九二五)	九六	五五五
昭和五(一九三〇)	九八	六三八
昭和一〇(一九三五)	九八	五九〇
昭和一五(一九四〇)	一一三	六四七
昭和二〇(一九四五)	二〇四	一〇二八
昭和二五(一九五〇)	一九九	一〇五三
昭和三〇(一九五五)	二七三	一三一五
昭和三五(一九六〇)	四二〇	一八四四
昭和四〇(一九六五)	八九六	三三〇七
昭和四五(一九七〇)	一四八七	五五四四
昭和五〇(一九七五)	二〇一三	七二四九
昭和五五(一九八〇)	二四四八	八三七二
昭和六〇(一九八五)	二六七八	九一六
昭和六三(一九八八)	二八〇八	九六七七

茅ヶ崎市史より



香川汚水幹線

工事について

下水道の普及度は、一国の文化水準を示すものと云われております。国、県としては、相模川右岸左岸の汚水処理場を、長年に渡り、完備しつつあります。これに伴って汚水幹線を設置しております。

香川地区としては、第一汚水幹線(松風台団地から、香川地区内の金子薬局前を南下し、大山街道に接して南下する)工事と、一方、第二汚水幹線は、北陵高校より南下、香川駅前を経て、地産団地を大山街道に至る二幹線が計画されております。

第一汚水幹線は、松風台団地から、第四町内東地区まで、六十二年完成予定であり、下記図面の点線個所が、六十三年度着工予定であり、大山街道寄りも点線個所のとおりです。一方第二汚水幹線は、地産団地北側地点までを、六十二年着工予定であります。これより北側は、今後の予定と聞きおよんでおります。

この工事完成後、各家庭の汚水工事が行なわれることとなります。

(広報)



香川南雨水幹線工事

この工事は、香川住民の多くは、俗称「南下水路」と称するものの工事です。

昭和六十一年度、西久保変電所のポンプアップ工事に始まり、昭和六十二年度はかね万石油の横側から裏通りまで完成し、昭和六十三年度は、地産団地へと進んで参ります。

香川第四町内の金子薬局から、西久保変電所まで、全長一一五八mの排水工事であり、六十七年度完成の予定ですが、六十三年度は、当市の手で工事が進められ、全体予算は約四十六億円程になる予定です。

この工事については、いく十年となく、香川住民が、雨期の度ごとに苦しめられて参つたもので、長年にわたり、

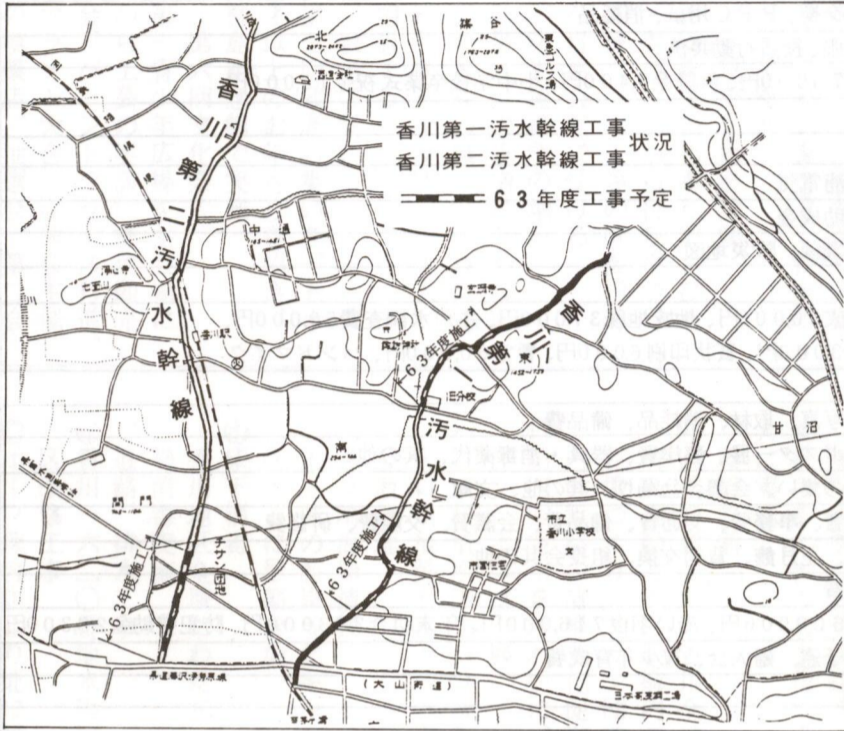
工事着工を市に陳情して来ましたが、雨量が多く、床下浸水も毎回であり香川の痛めでした。

六十三年度は、いよいよ地産団地の一番通行量の多い道路を横切つて工事が進められます関係で、地産団地の方々は申すに及ばず、香川全体住民の迷惑になる年度でありますが、香川の将来の為、この工事に協力を必要とします。

北陵高校行き、神奈中バスは地産団地に入りませんので、六月より来年三月までは、かね万石油の隣りで、バスは引きかえし運転となります。

予算等についても、今日此頃の経済状況では、変更も出てくることと考えられます。

(広報)



マナーのある街 香川

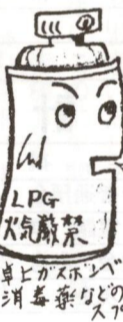
「クリーン香川」



もう守れてますか
急ぎ犬のマナー

スプレー缶等を
すてる時は穴を
これ常識

どこで爆発するかわか
らないヨ
人が大ケガする場合も
あるからわ



焼却炉の
故障の
原因にも
なります



空き缶は所定の
場所に
すてましょう



あなた一人の協力が
あなた一人の感心が
あなた一人の心掛けが
住みよい
美しい
みんなの香川を
つくります



俳句 茅花会

熊沢幸一
はくれんの裾より暗夜
はじまれり
白木蓮遠く近くに暮の聲

百百合子
だんだんに悲しくなりぬ紙雛
梅と桃おなじ日に咲き
海荒るる

長島久江

育て来し

画鋏あとはかり二月の告示板

藤村球子

初蝶のまぶしき方へ消えにけり

自転車も犬も乗る舟春夕燒

香沢みや

遠野火や一人につる風の音

はぐれるて小だるま買ふ春隣

平塚司郎

征馬のささときほぐす梅の下

梅が香に心寄りたる夕べかな

編集後記

会員の皆様と、広報委員の良きパートナーに恵まれ、この号を以て任期を終らせて頂きます。広報委員一人一人それぞれの仕事を持つ仲、なれない広報紙作りに委員一同みんなに親しまれる広報、読んで頂ける広報にと、日夜頑張つてまいりましたが満足頂けたでしょうか。

次期六十三年度広報委員の方々に、もつと良い広報紙作りに期待をかけ筆を置きます。ご協力、ありがとうございます。広報委員一同

昭和62年度 決算報告 (一般会計)

63.3.31 (単位 円)

科 目	62年度予算	62年度決算	比率	摘 要
繰越金	1,693,399	1,693,399	100	静相普通預金1,267,988円、現金425,411円
正会員会費	7,600,000	7,585,150	99	2,538世帯
特別会員会費	165,000	164,600	99	27世帯
交付金、補助金	1,990,000	2,080,266	104	自治運営収入、自主防災収入、電灯料収入、防犯灯収入、広報配布収入、環境美化収入
寄付金、受取利息	300,000	177,293	59	盆踊り、敬老の集い、利息
雑収入	90,000	1,227,467		消防詰所積立金振替1,031,437円、書籍販売手数料、共同募金赤十字感謝費、慶事等、体振
合計	11,838,399	12,928,135	109	

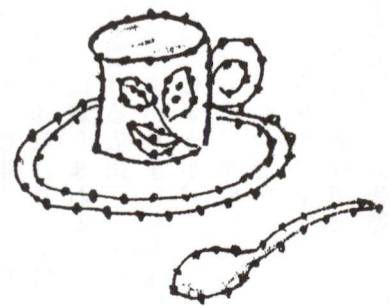
科 目	62年度予算	62年度決算	比率	摘 要
会議費	300,000	218,490	72	評議員・役員合同、役員会
事務消耗品費	200,000	257,298	128	コピーセット交換、P P C用紙、消耗品
旅費交通費	200,000	194,350	97	会長・役員出張、役員行動共済
交際費	100,000	97,400	97	会長出席祝儀75,000円、浜降祭7,400円、小中学校卒業式祝金15,000円
報酬手当	630,000	630,000	100	伝達員給料
防犯灯光熱費	1,000,000	1,017,711	102	防犯灯電灯料
防犯灯修理費	600,000	604,690	101	山田電気、松浦電気
廃棄物対策費	100,000	3,600	3	コンポエース助成金
防災費	300,000	322,290	107	備蓄・備品、訓練、防災地図
通信費	80,000	64,000	80	役員通信費
雑費	200,000	176,000	88	防犯灯台帳作成20,000円、地域地図37,000円、井戸水調査費50,000円、消防分団弁当3,000円、賞状印刷6,000円、暫定60,000円、ハンドマイク
町内会活動費	680,000	678,969	99	
広報委員会	676,000	676,000	100	会議、印刷、写真、取材、消耗品、備品費
環境整備委員会	450,000	439,500	97	会議、清掃費、ポスター展、海岸費、器具・消毒薬代、その他
文化厚生委員会	750,000	814,671	108	文化祭、敬老の集い、会議、盆踊り、その他、文庫
消防委員会	535,000	535,000	100	訓練費、活動費、事務費、交通費、備品費、会議費、交際費、研修費
総務委員会	269,000	257,262	95	交通安全教室、正月飾、賀詞交換、組長会その他
会計委員会	20,000	18,590	92	会議費、備品費
募金、協賛金	1,600,000	1,677,300	104	日本赤十字社600,000円、赤い羽根716,000円、年末助合333,000円、防犯費助金28,300円
各種団体助成金	280,000	280,000	100	寿クラブ、香子連、婦人会、青少年育成費
体育振興会	250,000	250,000	100	
特別会計支出金	1,260,000	1,556,843	124	修繕
機器、什器、備品費	250,000	67,960	27	薬品庫、印箱、噴霧機
会館償却引当金				
消防詰所積立金		1,031,437	100	
予備費	1,108,399	790,408	71	市職員・役員研修二市環境美化視察費、会長行動費、役員研修会、役員表札、その他
合計	11,838,399	12,659,859	106	
次期繰越金		268,276		

自治会館特別会計

科 目	62年度予算	62年度決算	比率	摘 要
繰越金	712,535	712,535	100	農業協同組合普通預金
会館使用料	785,000	686,025	87	会館使用料、電話、コピー、備品貸出
雑収入	75,000	70,769	94	建更共済割戻金、利息
一般会計繰入金	1,260,000	1,556,843	124	静相引落金、現金
合計	2,832,535	3,026,172	107	

科 目	62年度予算	62年度決算	比率	摘 要
会議費	20,000	4,950	24	会館修繕会議
水道・光熱費	300,000	199,503	67	電気料、水道料、プロパンガス、灯油
通信費	70,000	65,970	94	電話料
消耗品費	30,000	21,720	72	トイレトペーパー・お茶
備品費	50,000	54,060	108	自治会長角印・自治会ゴム印、ホワイトボード(第一会議室用)
清掃費	50,000	46,000	92	浄化槽、ダスキンレンタル料
維持費	1,150,000	602,600	52	会館修繕、陶器購入
報酬手当	900,000	900,000	100	管理人給料
雑費	262,535	279,200	106	建更共済
合計	2,832,535	2,174,003	77	

謹んでお悔み申し上げます。	3月25日	3月22日	3月12日	3月11日	3月2日	2月22日	2月20日	2月8日	1月30日	1月29日	1月14日	1月13日	63年	12月31日	12月23日	62年											
白本町内会	福島町内会	坂田町内会	丸第一町内会	田崎町内会	竹内町内会	菊地町内会	大塚町内会	亀井町内会	齊藤町内会	佐野町内会	竹森町内会	今泉町内会	今泉町内会	内川町内会	第四町内会												
37才組	16才組	75才組	1才組	75才組	44才組	20才組	80才組	1才組	41才組	12才組	51才組	48才組	3才組	28才組	23才組	58才組	3才組	57才組	14才組	54才組	15才組	47才組	3才組	68才組	1才組	63才組	1才組



計 報